

八幡平市



力強く、そして優雅に八幡平市をPRします

元気な八幡平市をさんさ踊りで全国にPR

八幡平市を広く県内外にPRしようと、市内で活動する「さくらさんさ愛好会」は8月3日、盛岡さんさ踊りパレードに参加しました。

今年で5回目のパレード参加となる同愛好会。当日は、八チマンタイラーも駆けつけ、市内外からの参加者合わせて総勢120人が、田村正彦市長を先頭に、力強い太鼓と華



かわいらしい舞を見せる参加者

麗な舞を披露し、八幡平市をPRしました。

さくらさんさ愛好会は、5月から参加者を募集し、個別練習や全体練習に励んできました。今回のパレードから新たに「福呼踊り」に挑戦。練習にも一層力が入りました。

参加者は終点までの約1キロのコースを弾ませながら、笑顔でパレードし、同愛好会は、見事パフォーマンス賞を受賞しました。

今年の盛岡さんさ踊りパレードも昨年に引き続き4日間行われ、延べ3万3千人が参加した日本の太鼓パレードに、詰め掛けた沿道の観衆は魅了されていました。

市福祉運動会は7月30日、総合運動公園体育館で行われました。

市内の福祉関係団体に所属している400人が4チームに分かれ、ボール送りや車いすリレーなど全11種目に挑戦しました。

開会式で、工藤勝治市社会福祉協議会長は「楽しく、和気あいあいと1日を過ごしてほしい」とあいさつ。参加者の元気あふれる様子に応援団から大きな声援が送られました。



ペアの声を頼りに進む白杖リレー

笑顔と元気が会場にあふれる市福祉運動会

岩屋不動産社の祭典は7月28日、安代地区扇畑の同神社境内で行われました。

この祭りは、地域住民が協力して毎年開催しているもので、出店などすべてが手作りの祭り。子どもからお年寄りまで多くの市民が詰め掛けました。民謡ショーのほか、ビンゴ大会やカラオケ大会が行われ、会場は大いに盛り上がりました。また、地域に伝わる小屋の畑田植え踊りが披露され、祭りに花を添えました。



市指定無形民俗文化財の小屋の畑田植え踊り

手作りのお祭りに地域のつながりを感じる